

和歌山病院 ニュース

第3号(季刊誌)
平成13年4月
編集発行
国立療養所和歌山病院



センブリ(越年草、花期9～11月)

薬効 (消化不良、食欲不振、胃痛、腹痛、下痢)

*和名のセンブリは「千回振り出してもまだ苦い」また当薬は「適切な薬」の意味でいずれもこの植物の特徴をよくあらわしている。センブリは栽培がむずかしい植物であるが近年栽培化に成功し、長野県や岐阜県で生産栽培が行われている。

目次

循環器科の紹介		2
病棟紹介	1 病棟.....	3
質問箱	循環器(動脈硬化、狭心症).....	3
今回の“なんでー”	なんでー、結核菌の検査は結果がでるのが遅いの?.....	4

お知らせ

健康教室 * * * * * 一般の方の参加も受付けております。

呼吸器 (呼吸器疾患に伴う呼吸困難) * * * 平成13年5月12日
土曜日

循環器 * * * * * 春～秋にかけて開催予定

お問い合わせは国立療養所和歌山病院医事課 TEL 0738-22-3256
内線 230まで

職員一同は、患者様の権利と立場を尊重し、地域と密着した『安心と信頼をいただける病院』を目指します。

＊ ＊ 循環器内科の御紹介 ＊ ＊

循環器内科は循環器疾患（心臓血管病、高血圧）について専門的に診療を行う科です。対象となる病気は虚血性心疾患といわれる狭心症や心筋梗塞、弁膜症、心筋症、心房中隔欠損症などの先天性心疾患、高血圧そしてこれらにもとづく心不全や不整脈が中心となり、さらに動脈硬化と密接に関係し生活習慣病といわれる高脂血症、糖尿病、肥満症、高尿酸血症などを含めて総合的に診療しています。

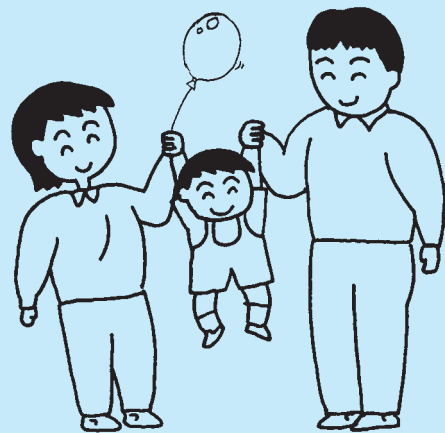
循環器疾患の症状は、無症状のまま健康診断などで異常を指摘されたり徐々に息切れや動悸、胸部不快感などが出現する場合から、ある日突然強い胸痛で発症したりする場合まで多彩です。これらの症状を十分にお伺いし、必要な検査や治療を行うことになります。検査としては胸部レントゲン検査、心電図、血液検査に加え、心エコー（心臓超音波）検査、トレッドミル運動負荷検査、心筋シンチグラムなどを病状に応じて選択し、さらに必要に応じて心臓カテーテル検査（冠動脈造影など）を考えていきます。最近の検査機器の進歩に伴い心筋の状態、弁膜の動きなどは心エコーによりとても詳しく分かり、心臓内の血流などから心不全の状態を推察する方法も考えられています。また、心臓カテーテル法も単なる検査だけではなく、風船療法といわれている経皮的冠動脈形成術

（PTCA）は狭心症、心筋梗塞にとっては、なくてはならない治療法の1つとなりました。また、薬も多くの種類が開発され、病状にあわせて有効な薬を考え、選択することが出来るようになってきました。このように、症状や検査結果をふまえて、治療の必要性の有無から内服薬治療あるいは他の治療の有効性まで総合的に考え診療を進めていきます。

狭心症、心筋梗塞などを主として循環器疾患は、生活習慣病の増加や高齢化社会での動脈硬化の進展により増加しつつあります。私たち循環器内科では、5名の循環器専門医が日常の診療を外来あるいは病棟で行っています。さらに急性心筋梗塞や不安定狭心症、急性心不全などに対しても、平日、休日を問わず、緊急に治療（緊急PTCAなど）が出来るように態勢を考えています。また、循環器疾患の検査治療のみでなく、発病の予防についても十分に考えていく必要があります。そこで、私たちは、生活習慣病のコントロールはもちろんのこと、日々健康的な生活を送っていくために『心臓病から考える健康教室』を開催しています。医師、看護部、薬剤科、栄養部門、理学療法部門各々の専門家が皆様と一緒に考えていることをテーマとしています。

当院では、開放型病院システムを導入しています。近くの先生にかかっておられるときでも、検査あるいは治療のために入院なさった時には、そのかかりつけの先生にも病院にお越し頂き病状について一緒に検討を行うようにしています。皆様の病状を詳しく考え、以後の治療をより適切なものとすべく診療を行っています。

現代の医療は日々進歩しています。循環器領域についても同様です。私たちも専門医としてこれらの進歩を着実に日常診療に生かしていくことを考え努力していきます。



楠山診療部長



水越医長



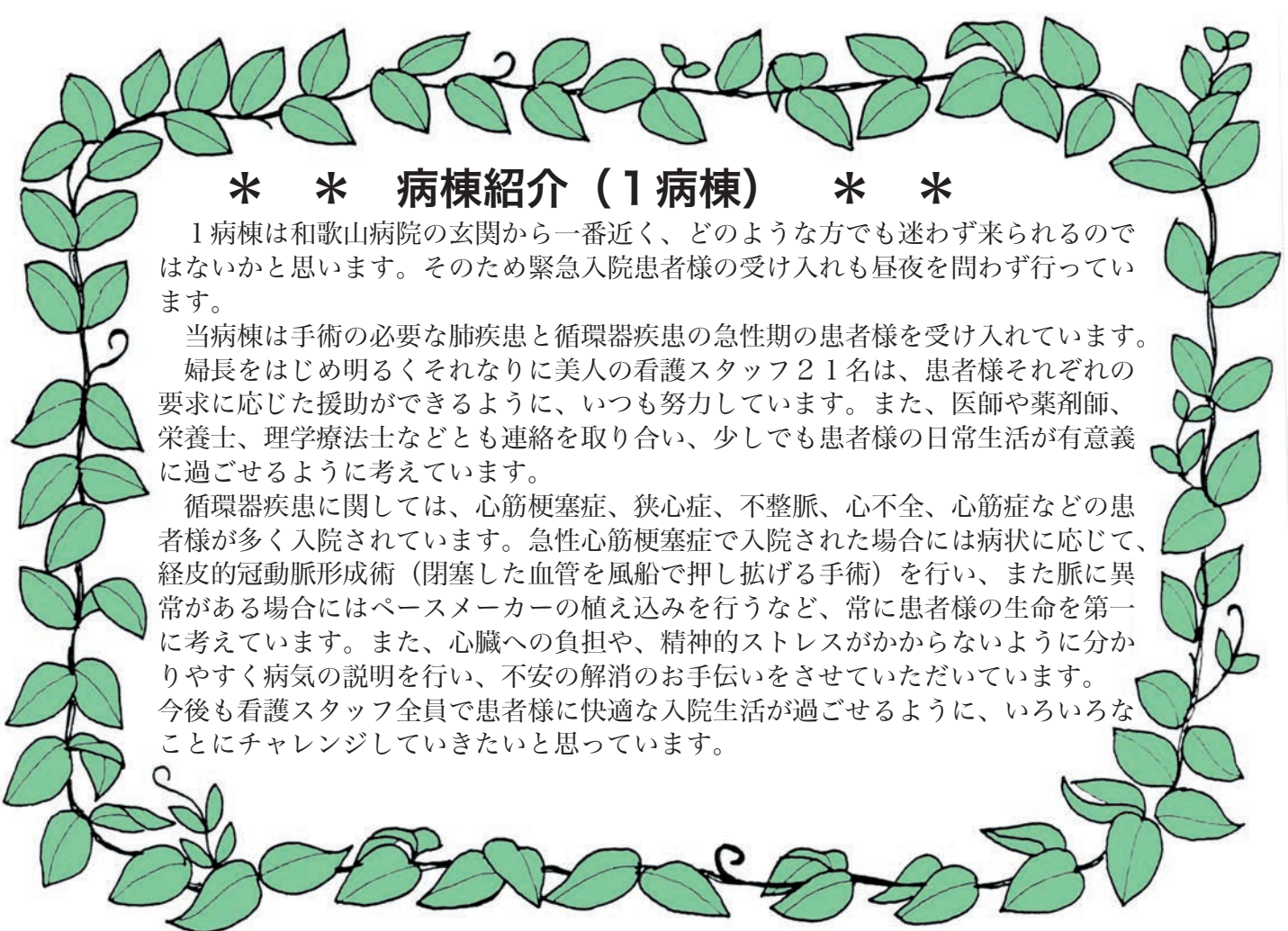
豊田医師



今西医師



川邊（哲）医師



＊ ＊ 病棟紹介（１病棟） ＊ ＊

１病棟は和歌山病院の玄関から一番近く、どのような方でも迷わず来られるのではないかと思います。そのため緊急入院患者様の受け入れも昼夜を問わず行っています。

当病棟は手術の必要な肺疾患と循環器疾患の急性期の患者様を受け入れています。婦長をはじめ明るくそれなりに美人の看護スタッフ２１名は、患者様それぞれの要求に応じた援助ができるように、いつも努力しています。また、医師や薬剤師、栄養士、理学療法士などとも連絡を取り合い、少しでも患者様の日常生活が有意義に過ごせるように考えています。

循環器疾患に関しては、心筋梗塞症、狭心症、不整脈、心不全、心筋症などの患者様が多く入院されています。急性心筋梗塞症で入院された場合には病状に応じて、経皮的冠動脈形成術（閉塞した血管を風船で押し広げる手術）を行い、また脈に異常がある場合にはペースメーカーの植え込みを行うなど、常に患者様の生命を第一に考えています。また、心臓への負担や、精神的ストレスがかからないように分かりやすく病気の説明を行い、不安の解消のお手伝いをさせていただいています。今後も看護スタッフ全員で患者様に快適な入院生活が過ごせるように、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

質問箱(循環器・動脈硬化、狭心症)

《皆様からお寄せいただいた質問にお答えするコーナーです。》

Q：狭心症や心筋梗塞の治療で風船治療ということをよく耳にしますが、一体どんな治療法なのでしょうか？

A：狭心症や心筋梗塞は冠動脈という心臓の筋肉を栄養している血管が動脈硬化で狭窄したり閉塞することにより起こる病気です。風船治療はこの狭窄または閉塞している冠動脈をカテーテルを使って広げる手術法で、外科手術と違って胸をメスで切開するようなことはありません。この手術は正式にはPTCA（経皮的冠動脈形成術）といいます。

方法は局所麻酔を足の付け根や腕に行い、その部分の動脈より2mmの太さのカテーテルを挿入し、心臓の出口にある冠動脈の入口まで入れていきます。次に冠動脈内に造影剤を注入し、病変部（狭窄や閉塞）の診断を行います。さらにカテーテルから非常に細いワイヤーを冠動脈内に挿入し病変部を通過させ、このワイヤーに沿って先端に風船のついたカテーテル（バルーンカテーテル）を病変部に進め、風船を拡張させます。病変部が十分拡張できたら、風船を抜去し手術を終了します。風船の拡張中は胸の痛みが生じますが風船を抜去すると胸の痛みは消失します。ステントという金属製の筒を血管の中に内張りとして挿入することもあります。この手術は約1－2時間で済みますが手術後1日ぐらいの安静が必要となります。この手術の成功率は90%以上と高く、比較的安全に行うことができ、たいいていの方はこの手術により普通の日常生活ができるようになります。ただし、手術後の経過をみるため、3－6ヵ月後に冠動脈造影検査を行う必要があります。

このように医学の進歩により大がかりな手術をせず心臓の病気をなおせるようになってきましたが、何よりも大事なことは手術が必要になる前に自分の健康管理（高血圧、高脂血症、喫煙、肥満、糖尿病、ストレスなどの是正）をきちんと行うことが大切です。

外来診療担当表

平成13年4月2日現在

総合外来

診察室	月	火	水	木	金
1 診	西村			西村	

循環器・内科

診察室	月	火	水	木	金
3 診	楠山	水越		楠山	水越
5 診	豊田	今西		川邊(哲)	豊田

呼吸器科

診察室	月	火	水	木	金
1 診					西山
2 診			駿田		
6 診	上田	川邊(和)	畠(午後)	小野	
7 診	駿田	小野	上田	川邊(和)	岡村

脳内科

診察室	月	火	水	木	金
1 診			間		

胸部外科

診察室	月	火	水	木	金
2 診	平井	西田		平井	西田

神経内科

診察室	月	火	水	木	金
6 診			広西(隔週)		近藤(隔週)

小児科

診察室	月	火	水	木	金
小児科	岩崎	島津	アレルギー(予約)	岩崎	島津

睡眠外来(午後)

診察室	月	火	水	木	金
6 診	岡村				

放射線科

診察室	月	火	水	木	金
放射線科		池田		池田	

検査科

検査室	月	火	水	木	金
超音波室	心エコー	心エコー		心エコー	心エコー
				腹部エコー	
内視鏡室		内視鏡		内視鏡	

上記の診察日は学会出席等で変更することがありますので、詳しくは受付窓口でご確認ください。

診療科目 内科・呼吸器科・循環器科・小児科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・放射線科

受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで

(睡眠障害外来は毎週月曜日の午後1時30分から午後4時まで)

面会時間 午後1時から午後8時まで

今回の“なんでー”

＊＊なんでー、結核菌の検査は結果がでるのが遅いの？＊＊

「最近、変な咳が出るので心配やから診察してもらおう！」

診察をしてから、病名が確定するまで(検査結果が判明するまで)時間がかかり、新聞などで結核に感染された方が仕事を続けていたケースを時々見かけますが・・・

”でも、なんでー結果出のに何週間もかかるの”と疑問に思いませんか？

これは、結核菌の増殖分裂の速度がおそく、1個の菌が2個になるには14～16時間もかかるからです(大腸菌では20～30分、ブドウ球菌では30～40分くらい)。そのため、通常結核菌が目に見えるくらいまで発育するには4～5週間くらいかかります。そこで当院では「MGIT」という結核菌をはやく発育させる装置を使用していますが、それでも2週間前後かかっているのが現状です。しかし結核菌が発見出来ない場合は、8週間培養を続けるため、結核菌の検査には時間がかかります。

結核には良い薬がありますので、日ごろの健康チェックと早期発見のためにも「何かおかしいな！」と思ったら早めに専門医の診察を受けましょう。



ホームページアドレス
http://www.hosp.go.jp/~wakah/

国立療養所和歌山病院
〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
電話番号 (0738) 22-3256
FAX (0738) 23-3104